

9 / 2 2 ② 校長室より No.93

〈今日の新人戦壮行式で、次のような激励の言葉を送りました〉

あさってから「新人戦」ということで、1・2年生が3年生からバトンを受け取って初めての公式試合となります。この間には、コロナの影響や学年行事などがあり、十分に練習を積みなかったという部もあるかと思いますが、暑かった夏休みの練習を乗り越えて一回り大きくなった自分がこの場に立っているはずです。

さて、今年11月にサッカーのワールドカップがありますが、4年前ロシアで開かれたワールドカップで、本田圭佑選手が話していたことが私には印象に残っているので紹介します。本田選手は、その大会を自分自身の最後の大会と位置づけ、チームメートと積極的にコミュニケーションをとったそうです。そして、大会終了後には「やれるだけやって、今言えるのは、本当に選手をみんな好きになったこと。こんなに好きになれるとは思わなかったくらい好きになった。」と目を潤ませて仲間に感謝したそうです。

みなさんには新人戦が終わったとき、チームメートを今まで以上に「好きになった」と言えるようチームワークを深めてほしいと思います。そこには、自分の



精一杯のプレー、チームメートへの信頼や失敗を許す寛容さ、相手チームへのリスペクト、そして周りの方々への感謝などが必要です。技術や勝敗はもちろん、新人戦だからこそ、この試合を通してチームが一層まとまり、来年の本番に向けた良いステップとなることを期待します。

保護者の皆様、本日は応援ありがとうございます。また、今までも子どもたちの活動を支えていただき、ありがとうございました。大会当日もよろしくお願いいたします。

それでは、この2日間を通して、チームメートを「こんなに好きになるとは思わなかったくらい好きになった」と言えるような大会にしてくれることを期待してあいさつとします。

